

## 編集委員会

日本医学物理学会 会長 殿

平成 23 (2011 年度) 年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 蓑原伸一

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	蓑原伸一◎、金澤光隆、長谷川智之、渡部浩司、遠藤暁、有村秀孝、徳森謙二
今年度課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・「医学物理」の過去の研究論文等のアーカイブ化</li><li>・技術学会と合同で発行している英文誌 (RTP) と機関誌「医学物理」をどう位置づけて運営していくか。</li></ul>
委員会開催 履歴	(23 年度は 4 月の学会が WEB 開催となったため開催出来ず)。メールでの連絡等のみ。
総括	<p>昨年まで理事会等の場で「医学物理」の過去の記事を PDF 化して閲覧出来る方向で検討していたが費用やサーバ等が課題となっていた。今年度、震災等に関連して科学技術振興機構 (JST) から学術誌のオンラインジャーナル (Journal@rchive) の募集があり、これに応募しとことろ、本誌がアーカイブ化の対象誌に選ばれた。学会側の費用は発生せず、JST のサーバ上で運用されることになる。10 月頃からアーカイブ化の作業が始まった。これにより医学物理学学会誌の創刊号「日本医学放射線学会物理部会誌 (1981 年)」からの研究論文すべてが PDF 化され、オンラインで閲覧可能になる予定である。平成 24 年度中に利用開始の予定で、現在作業が進んでいる。</p> <p>一方、「医学物理」誌への投稿は低迷が続いている。但し英文誌 (RTP) あわせと本学会会員からの投稿・掲載数は、従来とほとんど変化ない。逆に会員数が増えている割には、合わせた投稿数が伸びていない。</p> <p>英文誌との関係で「医学物理」をどう位置づけるかが今後の大きな課題となる。</p>